

速度違反の取締り



警察庁交通局

第1回懇談会における意見集約結果

- 1 交通取締りと交通事故の関係
- 2 交通事故抑止に資する速度取締りの在り方
- 3 交通取締りの必要性について、いかにして国民に理解を求めるか
- 4 その他

- 1 速度取締りの方法
- 2 速度取締りの必要性
- 3 平成24年中の速度違反取締り件数
- 4 速度取締りの管理

1 速度取締りの方法

(1) 定置式

- ・レーダ式
- ・光電式
- ・レーダパトカー

(2) 追尾式

- ・パトカー
- ・白バイ

(3) オービス

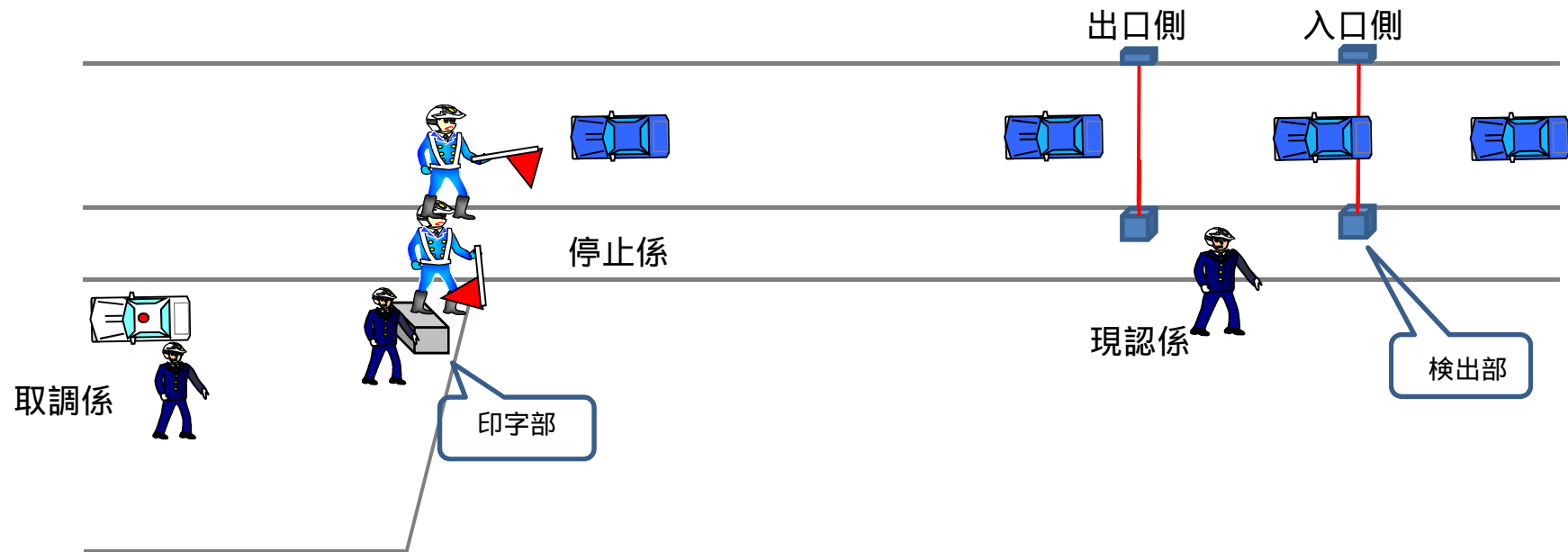
- ・固定式
- ・移動式



(1) 定置式(レーダ式)による速度取締り

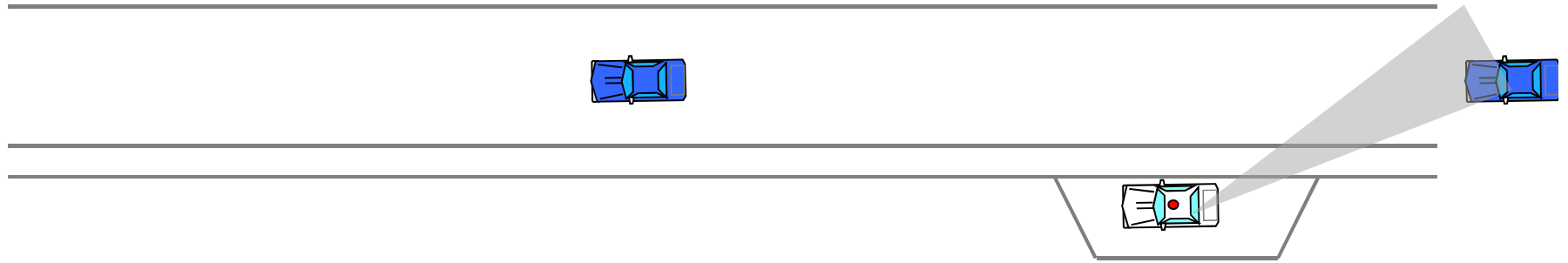


(2) 定置式(光電式)による速度取締り

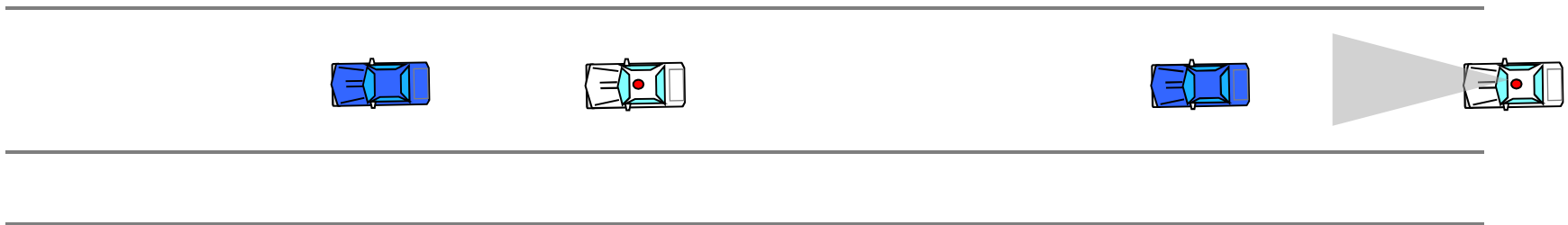


(3) レーダパトカーによる速度取締り

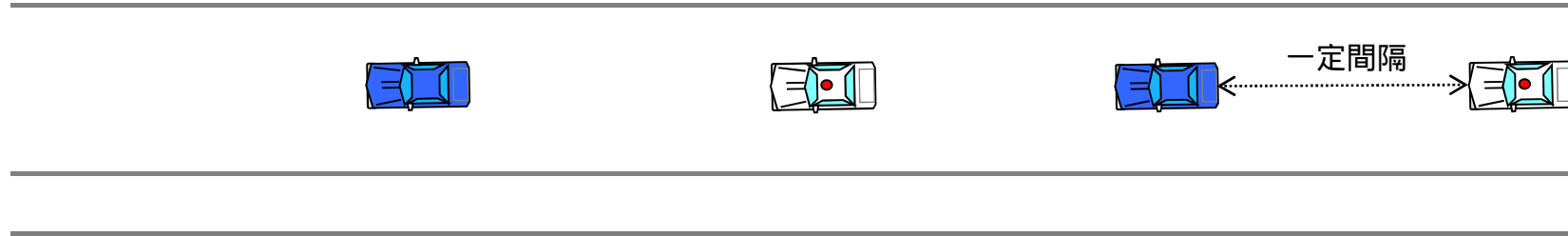
停止型



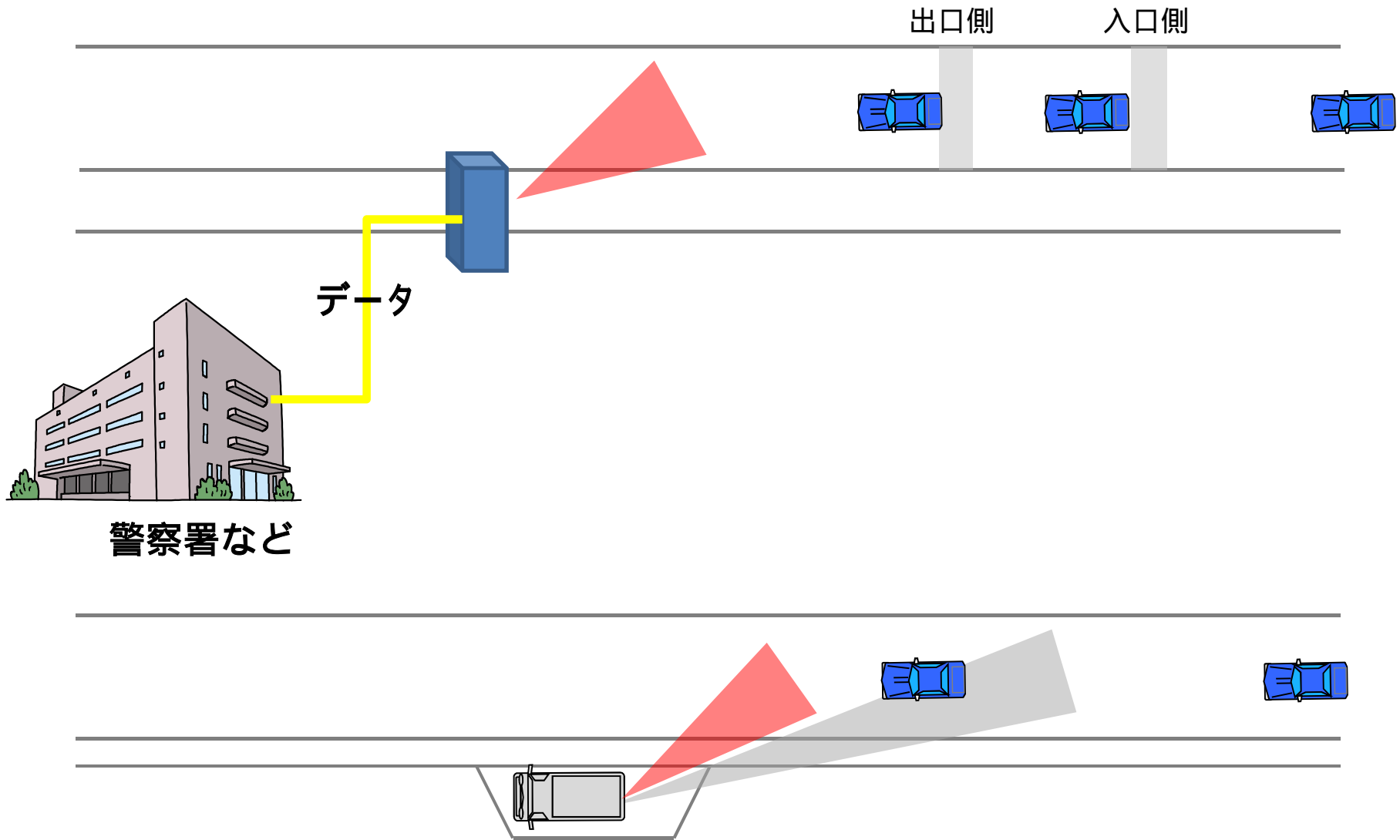
走行型



(4) 追尾式（パトカー等）による速度取締り

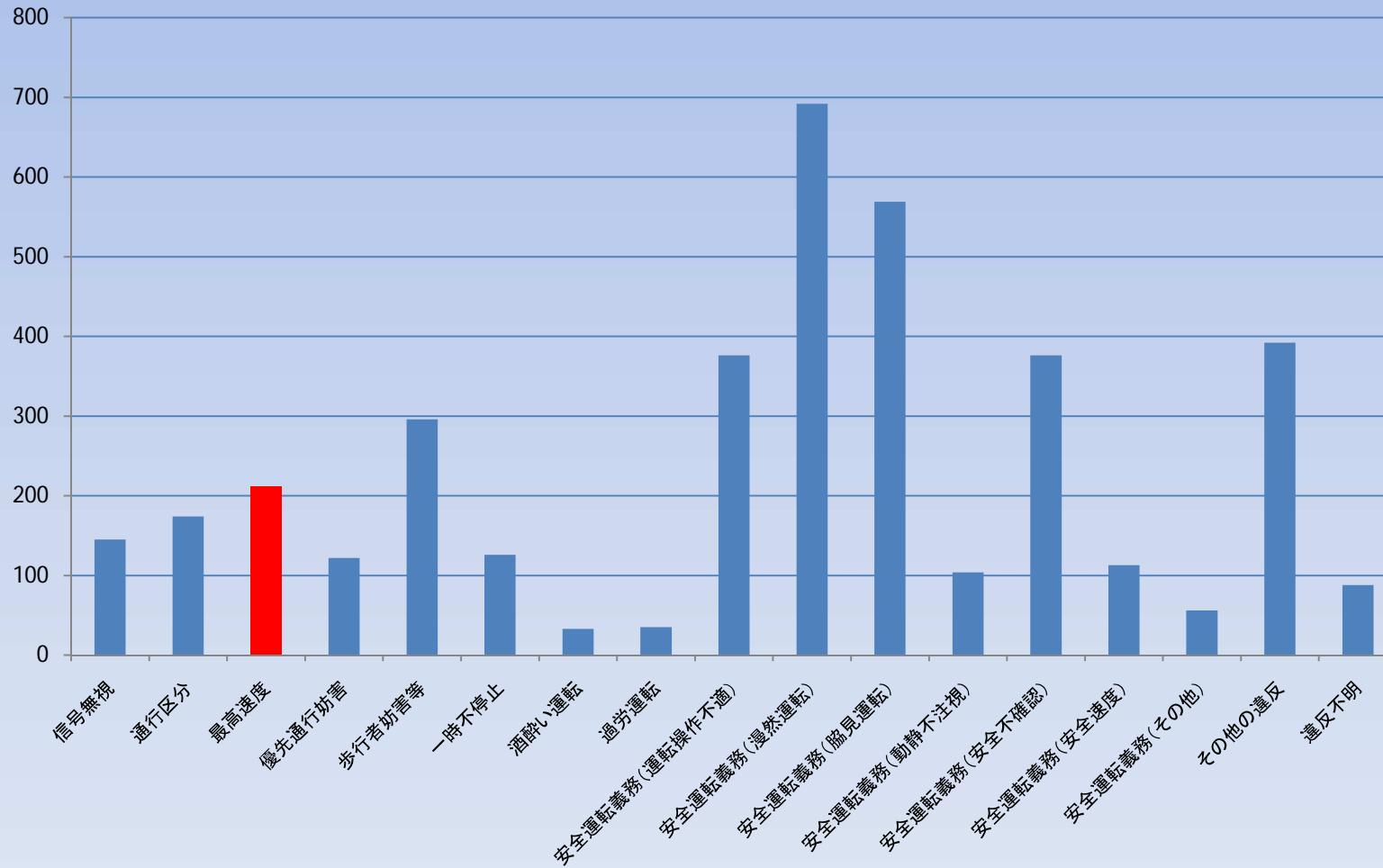


(5) オービス（固定式・移動式）による速度取締り



2 速度取締りの必要性

(1) 平成24年中の法令違反別死亡事故件数

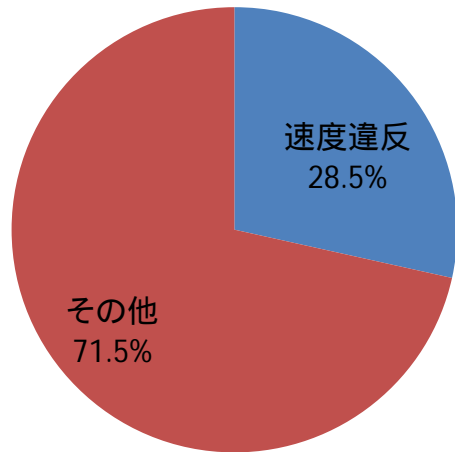


(2) 平成24年中の規制速度超過に伴う事故件数

	交通事故件数（件）				うち死亡事故件数（件）			
	a	うち規制速度超過（件）		a - b	c	うち規制速度超過（件）		c - d
		b	4.6%			d	36.2%	
全体	629147	28813	4.6%	600334	3734	1353	36.2%	2381
人対車両	56111	2505	4.5%	53606	1419	514	36.2%	905
車両相互	550322	22033	4.0%	528289	1588	476	30.0%	1112
車両単独	22714	4275	18.8%	18439	727	363	49.9%	364

第1当事者が原付以上の車両によるもの

3 平成24年中の速度違反取締り件数

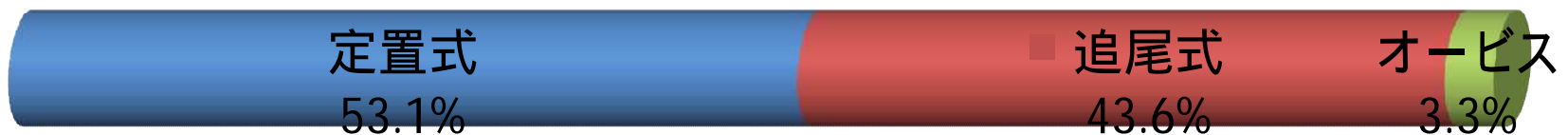


告知、送致件数に占める速度違反の割合
総件数から点数告知、放置違反金納付命令を除いたもの。

違反行為	取締り件数
50km以上	24,236件
50km未満	284,051件
30km未満	395,015件
25km未満	802,358件
20km未満	715,420件
15km未満	40件
合計	2,221,120件

電算資料による。

取締り方法別の検挙割合（平成24年中）



4 速度違反取締りの管理

定置式速度違反取締りの特性

- (1) 事故抑止効果を最大限に発揮するためには、実施場所や時間などについて検討を行う必要がある
- (2) 高速で走行する車両を停止させるなどの危険を伴う



「定置式速度違反取締りカード」を運用

「定置式速度違反取締りカード」(モデル案)

			別添1
署(隊)長	副署(隊)長	課長等	平成 年 月 日
			階級
			氏名

定置式速度違反取締りカード(モデル案)

日 時	平成 年 月 日	午前・後 時 分から	
		午前・後 時 分まで	
	路 線 名	車線数 (片側) 車線	先道路
	交通規制法定・指定()km/h	標 識 の 視 認 性 (良好・不良)	
場 所	当該取締場所は、自動車専用道路(自動車専用(325)の規制標識の設置がある道路)で ある ・ ない		
※ 自動車専用道路に該当すれば、速度超過40キロメートル毎時未満の違反行為は反則行為となる。			

取締りの 必要性	<input type="checkbox"/> A 過去1年以内に交通事故が多発している区間・時間帯である。
	<input type="checkbox"/> B 道路交通環境に照らし交通事故発生危険性が高い区間・時間帯である。
	<input type="checkbox"/> C 暴走行為が多発している区間・時間帯である。
	<input type="checkbox"/> D 住民の取締り要望が高い区間・時間帯である。
	<input type="checkbox"/> E その他取締りを行う必要がある区間・時間帯である。
	[]

	<input type="checkbox"/> 夜間の場合、道路照明(有・無)
	<input type="checkbox"/> その他 []
備 考	